



インスピレーションになるう

脇町ロータリークラブ

第2670地区

徳島第2分区 脇町ロータリークラブ

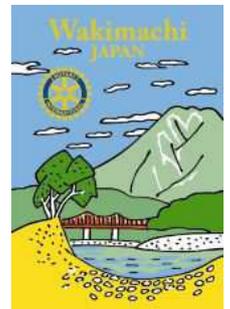
2018年11月29日 木曜日

第22回例会 No. 2645

会員総数：43名 出席者：33名 出席率：76.74%

ゲスト： ショウ ハイヨウ 様(米山奨学生)

西川 佳男 様(徳島RC)



◎会長挨拶

鉄野会長

本日は、米山奨学生で徳島大学 総合科学教育部2年の鐘佩容(ショウ ハイヨウ)様とお世話クラブのカウンセラー西川佳男様にお越し頂きました。ロータリー米山記念奨学会は、勉学、研究を志して日本に在留している外国人留学生に対し、日本全国のロータリアン(ロータリークラブ会員)の寄付金を財源として、奨学金を支給し支援する民間の奨学団体です。将来母国と日本との懸け橋となって国際社会で活躍する優秀な留学生を奨学することを目的としています。米山奨学生の採用数は、年間780人(枠)。国際奨学団体としては、事業規模・採用数とも、日本国内では民間最大です。奨学金による経済的な支援だけでなく、ロータリークラブ独自の世話クラブとカウンセラー制度による心の通った支援があります。

◎幹事報告

河合幹事

到着週報 美馬・鴨島・阿波池田・鳴門中央・洲本 各RC

到着書類 RIレート 1ドル=112円

◎卓話

鐘 佩容 様
ショウ ハイヨウ

テーマ：米山奨学生がロータリークラブで学んだこと

1. 自己紹介 出身地：広西チワン族自治区 徳島大学 2016年10月~2017年3月 総合科学部 研究生、2017年4月~2019年4月 大学院生

2. 徳島大学での研究内容：外国人技能実習制度について

研究テーマ：就労と結婚のトランスナショナルなライフコース

日本人と結婚した元中国人技能実習生の事例を通して

研究のきっかけ：新聞で中国人技能実習生についての記事を読んだことがきっかけです。留学生と違う形で日本で滞在している技能実習生は、どのように生活しているのかについて興味を持ち始めました。研究目的：この研究は、これまでの研究が見落としとしてきた生活主体者としての外国人技能実習生をみんなに見せます。この研究を通じて、日本社会を支えている外国人技能実習生のことを世の中の人に理解してもらいたいと考えています。また、将来外国人技能実習生、或いは在日外国人をサポートできる仕事をしたいと考えています。

3. ロータリークラブで学んだこと

1) 悩む時間がもったいない：ロータリークラブの方からいただきました。私の考え方を大きく変えました。ずっと一人で悩んでも、何も解決出来ません。ロータリークラブの強さは多くの有識者が集まり、頼れる人が多くいます。人に相談し、一緒に問題の解決法を考えたほうが効率よくなります。

2) 奉仕の心：神山森づくり活動に参加することによって、自分が留学生である同時に、徳島に住む住民の一人でもあることを再認識しました。徳島の地域愛を深めるために、これから、もっと多くの地域のイベントに参加したいと思うようになりました。

感謝の気持ちを忘れずに

3) 日本の文化：日本の文化だけ受け入れるのではなく、日本の文化を中国にいる人に発信しています。同時に、自分自身も中国の文化をもっと勉強しながら日本人、そして世界の人に発信したいと思うようになりました。岐阜大学に短期留学する時、月一回の頻度で外国人留学生向けの茶道教室に通っていました。しかし、その後茶道をする機会がないため、だんだん忘れられました。ロータリークラブでカウンセラーの西川さんがよく茶道や和菓子など日本の伝統文化についていろいろ教えてくださいました。これは大学で習うチャンスが少ないため、とても良い勉強になります。

4. これからの目標

学んだことを実際の生活で活かすこと・卒業後、学友会に加入し、活躍すること・ロータリー米山の精神を母国に発信すること・日本と中国の架け橋になること

次回例会

2018年12月6日(木) 12:30~

ザ・ディスティノー

卓話

定時総会

- ★ 次の会員は例会欠席でした。メイクアップして下さい。岡本会員、木下(賢)会員、郷司会員、須藤会員、千葉会員、豊島会員、秦会員、藤川会員、藤村会員、藤原会員
- ★ 次回例会の出欠を南(由)出席委員長若しくは河合幹事まで連絡してください